

## 子ども、高齢者、障がい者、外国人など 小さな「居場所」の、生々しい実態・気づき・今後の課題を発表 第25回地域共生ケア全国ネットワーク研究交流フォーラム



142名（オンライン21名含む）が参加

150ページ超の報告書

地域共生ケア全国ネットワーク※1と居場所ネットワーク大阪※2は、2025年3月14日（金）～15日（土）、たかつガーデン（大阪市天王寺区）で、実行委員会形式にて、**142名の参加者を集め、「第25回 地域共生ケア全国ネットワーク研究交流フォーラム in大阪」を、開催し、150ページにおよぶ実施事例報告書を発表しました。（メディアの皆様には、無料で配布します、ご連絡ください）**

3月14日（金）

12：00前後【まちあるき・現場見学】 9コース 76名

14：00～14：40【居場所トーク】フォーラム参加者の、居場所への取り組みを聞く



最多14名が見学したエフエーさろん



エフエーさろんでは子ども服をリサイクル

問い合わせ先

事務局：居場所ネットワーク大阪  
NPO法人エフ・エー  
理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
電話：06-6627-1977（平日10時～17時）  
メール：[npofoa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofoa@oct.zaq.ne.jp)  
携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

概要

居場所ネットワーク大阪  
共同代表：隅田 耕史／高村弘  
設立：2005年3月  
活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会／交流会の開催、居場所づくりサポートなど

**15:00~16:45【実践発表】パネルディスカッション「ちいさな取り組み・ちいさな居場所」**  
 介護保険など既存の制度ではカバーしきれないところに取り組むインフォーマルな「大阪の居場所」の担当者が、各自5分~10分の時間で、課題や思うことなどを発表する



**■お茶の間わいわい 築90年長屋小さな居場所 大阪市東成区**

美味しいもの、お茶しながらわいわいと話し、ほっとできる場を目指しています。月2回食事会、月1回親子晩ごはん、学習会（不定期）などを中心に開いています。



**一般社団法人わいわい 代表理事/居場所ネットワーク大阪 世話人 柳 晴美**



大分県別府市生まれ。大阪赤十字病院で看護師として勤務後デイサービスにて看護師・在宅ケアマネ。2003年富山の「このゆびと一まれ」と出会う。子育てのしんどい時期に「このゆびと一まれ」のような居場所が地域にあったらと思い、惣万さん・西村さんを招き講演会を開催。2004年、居場所ネットワーク大阪（旧：大阪宅老所・グループハウス連絡会）のサロン講座に参加し2007年月1回からサロン開始。2012年より「お茶の間わいわい」開設。サロンで食事会・親子晩ごはん（こども食堂）・音楽会・学習会など開催。東成区社会福祉協議会と共に東成サロンマップ1~4号作製。現在はケアマネは退職し遠距離介護しながらわいわいを運営。

**■NPO法人 出発のなかまの会 松野農園 誰もが集える都会の異空間 大阪市生野区**

ここでは誰もが集える場。働くのもよし、畑作業をしてもよし、絵画や手芸に集まってもよし、みんなでご飯を作って食べてもよし、おしゃべりをして、本を読んでも、何もしなくてもよし。ふらっと遊びに来てください。



**NPO法人出発（たびだち）の仲間会 代表理事 勝井 操**



“誰もが暮らしやすい社会”を目指し、大阪市生野区で、障害のある大人・子どもの地域生活を支援する活動をしている。活動の中で出会う、個性あふれる方々に心惹かれ、それぞれの“人生の物語”に出会い、共にワクワク・ドキドキし続けて30年。さまざまな出会いに、自分の人生を豊かにしてもらっている。

**■Minamiこども教室 外国ルーツの子どもの学習 大阪市中央区**

Minamiこども教室は、地域の外国にルーツのある子どもたちの補充学習と、子どもたちの支えあう関係づくりに資する活動を行います。外国人家庭の自立のために必要な情報提供や社会資源の活用機会拡大に努めます。



**Minamiこども教室 実行委員/みなみのぼたの会 金 カラク（社会福祉士）**



創設1年目の学習支援団体Minamiこども教室にボランティアとして参加し、以降はMinamiこども教室実行委員として、登録者の子育て・進学・在留資格などの相談を担当しています。「できる」ようになることを保障する場所ではなく、様々な場面で、「普通」という言葉に傷つけられた子どもたちの居場所が島之内に必要だと感じ、有志と2024年にみなみのぼたの会を設立しました。現在も基盤づくりをしながら子どもや親の個別の相談対応やプレーパークなどの活動を行っています。

問い合わせ先

概要

事務局：居場所ネットワーク大阪  
 NPO法人エフ・エー  
 理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
 電話：06-6627-1977（平日10時~17時）  
 メール: [npofoa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofoa@oct.zaq.ne.jp)  
 携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

居場所ネットワーク大阪  
 共同代表：隅田 耕史/高村弘  
 設立：2005年3月  
 活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会/交流会の開催、居場所づくりサポートなど

■ **特定非営利活動法人ビハーラ21 社会資源としてのお寺活用 大阪市平野区**  
身寄りがない人へのインフォーマルな支援を中心に活動している。お寺を社会資源の1つとして医療との連携のほか司法（大阪弁護士会障害者刑事弁護部会）と協働する「大阪モデル」にも積極的に取り組んでいる。



**特定非営利活動法人ビハーラ21 理事長／財団法人安住荘 代表理事 三浦 紀夫（真宗大谷派僧侶）**



1965年大阪府貝塚市生まれ 東京通信大学人間福祉学部卒。大手百貨店で、仏事相談員に従事する中、グループケアに関心をもつ。44歳で得度後、更なる活動場を求めてビハーラ21へ移籍する。「葬式仏教から福祉仏教へのシフト」をビジョンに看取りから葬送・納骨までご家族に寄り添い続ける活動を実践している。また、大阪弁護士会との協働で更正支援コーディネーターとしても活動している。

■ **山王こどもセンター 「ただいま」と言えるみんなの居場所 大阪市西成区**  
山王こどもセンターは、こども達の安全で楽しい日常を守るため地域に開かれた場所です。異年齢のこども達と暖かく見守るおとな達が出会う事や、様々なプログラムを通じて個々の可能性を広げる事を目的にしています。



**山王こどもセンター 田村幸恵**



1982年生まれ 大阪芸術大学を卒業後、知的障がい入所更生施設で5年従事。ここで自閉症の方、ダウン症の方、重度の障がいのある方のことを知る。退職後、生野区にある「じゃがいもこどもの家」と出会い、ボランティアやアルバイトを始める。同法人の「山王こどもセンター」に派遣されこども達と過ごす、遊ぶ、抱えている問題を一緒に考えることの大事さを知り、職員となる。猫が好き。運動は苦手ですが、こども達と一緒に成長中。

■ **特定非営利活動法人聖公会生野センター 在日高齢者と韓国家庭料理 大阪市生野区**  
キリスト教を元にした地域活動で、人権・福祉・教育を楽しんでいます。障がい者の生活介護と高齢者のデイサービスを共生型でおこなっています。もっと、高齢者と障がい者の交流を進めるのが課題です。



**聖公会生野センター 吳 光現**



1957年生野区生まれで、在日韓国人2世として在日の人権活動に携わってきた。大学生の時から地域活動に従事。キリスト教関係の生野地域活動協議会で働くことをきっかけに障がい者（児）との出会いを経験。その後地域活動を通して「谷間にある人たち」と共に歩みたいと願っている。現在は主に精神障がい者の支援と在日高齢者の居場所を運営。共生型の事業を障がい者がメインで高齢者の介護事業を行う。

■ **特定非営利活動法人エフ・エーさろん みんなの集い場 大阪市阿倍野区**  
誰でも出入り自由。月イチ食事会、糸へん倶楽部（手芸好きの集まり）、健康体操、健康麻雀、脳トレなど多彩なイベントを開き、つながり作りの居場所。サロンボランティアは地域の方。子育て支援団体とスペースを共有。



**特定非営利活動法人エフ・エー 理事長 長福 洋子**



大学卒業後、済生会中津病院でMSW（医療ソーシャルワーカー）として勤務。退職して、子育て中の1995年、住民互助型助け合い団体「ふれあいあべの」を立ち上げ、1999年NPO法人エフ・エーを設立。「助け合い活動」「居場所活動」などの非営利活動と、収入の柱である介護保険事業（ケアマネ・デイサービス・訪問介護）の両輪を回しながら、23年間やってきた。しかし、2023年末に人材確保ができず、介護保険事業からは完全に撤退した。現在、居場所ネットワーク大阪の世話人、事務局を担当。その他、大阪有償ボランティア団体連絡会などの各種連絡会に所属。

問い合わせ先

事務局：居場所ネットワーク大阪  
NPO法人エフ・エー  
理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
電話：06-6627-1977（平日10時～17時）  
メール：[npofa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofa@oct.zaq.ne.jp)  
携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

概要

居場所ネットワーク大阪  
共同代表：隅田 耕史／高村弘  
設立：2005年3月  
活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会／交流会の開催、居場所づくりサポートなど

■プロジェクトスペース「とか」 本と音楽の店、ときどきゼミ 東大阪市西上小阪  
西日本最大の学生街近大まなびや通りにひっそりと佇む築90余年のクリーニング屋を再活用した、西日本最小（たぶん）の古本屋・中古レコード店、コミュニティスペースです。水棲ガメの「とんちゃん」「かんちゃん」が本や音楽を独断と偏見でセレクト・紹介。全国の障害福祉現場で生まれたユニークな雑貨も取り扱い中。カメ店長に代わって、スタッフ6名が月水金の11時～18時で支え合って運営。オーナーは教員業もしているのでときどきゼミも実施。



<とか>オーナー アサダ ワタル



(画：花堂達之助)

文化活動家・近畿大学 文芸学部 文化デザイン学科 専任講師  
音楽などの表現行為をきっかけに、異なる立場にある人同士がつながるアートプロジェクトを、全国の福祉施設や学校、復興住宅などで企画演出。品川区立の障がい福祉施設でアートディレクターとして3年間勤務し、2022年から近大へ。  
著書に『住み開き 増補版』（ちくま文庫）、『想起の音楽』（水曜社）など多数。  
本と音楽のお店、ときどきゼミ <とか> オーナー。博士（学術、滋賀県立大学）。

■一般社団法人わっく金剛 日替わり店主の店『わっくcafé』 大阪府富田林市  
50年ほど前のニュータウン「金剛団地」の空き店舗を活用した地域の居場所。店主に登録した人たちが、それぞれの得意料理でカフェをオープンしている。日によって、店の様子が変わる『わっくCafé』。



一般社団法人わっく金剛 理事 岡本聡子



富田林市でNPO法人「ふらっとスペース金剛」を2003年に立ち上げ親子のひろばをはじめとする子育て支援事業を15年間展開し、次の世代に引き継ぐ。子育てひろば全国連絡協議会の理]いも務め現在は協力アドバイザー。さまざまな世代の人たちの「居場所づくり」をめざし、2020年2月、金剛団地にある商店街の一角を拠点に、日替わり店主の店「わっくCafé」をオープン。こども食堂も開いている。また、2019年からはスクールソーシャルワーカー（SSW）として、大阪府内の高校や東大阪市の小中学校で子どもたちやその家庭が直面する課題解決に向けて奔走。大阪大谷大学非常勤講師も務め、子育て支援の実践体験を学生たちに伝えている。

3月14日（金）

16：45～17：15【行政説明】

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室 支援推進官 犬丸 智則氏（30分）

「重層的支援体制整備」について

17：15～17：45【制度解説】平野隆之氏（日本福祉大学教授）による厚生労働省説明の解説



問い合わせ先

事務局：居場所ネットワーク大阪  
NPO法人工フ・エー  
理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
電話：06-6627-1977（平日10時～17時）  
メール：[npofoa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofoa@oct.zaq.ne.jp)  
携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

概要

居場所ネットワーク大阪  
共同代表：隅田 耕史／高村弘  
設立：2005年3月  
活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会／交流会の開催、居場所づくりサポートなど



犬丸 智則氏

1975年大阪府生まれ。民間企業勤務を経て2005年滋賀県守山市役所に入職。健康福祉分野を長く経験。職務を通じて様々な市民・団体に出会う中で、自分らしい生き方の実現を起点に、コミュニティの再生、地域の活性化が循環するまちづくりに取り組んできた。2020年には、空き店舗をリノベーションし、地産地消の「食」と「働き方」「福祉」をつなぐ「Café Ink MORIYAMA」を開設。その中心的な役割を担う。現在は、厚生労働省地域共生社会推進室で、主に自治体支援・研修企画等を担当。



平野 隆之氏

日本福祉大学大学院特任教授・同大学権利擁護研究センター長・NPO法人CLC理事。地域福祉研究の立場から重層的支援体制整備事業のフィールドワークを行っている。著書には『地域福祉マネジメントと評価的思考－重層的支援体制整備の方法』（有斐閣）、『権利擁護がわかる意思決定支援：法と福祉の協働』（ミネルヴァ書房）、『地域共生の開発福祉』（ミネルヴァ書房）『共生ケアの営みと支援-富山型「このゆびとーまれ」の調査から』（CLC）、『小規模多機能ケア実践の理論と方法』（CLC）などがある。近著（3月13日出版予定）には、『福祉開発マネジャーは何を開発しているのか－社会参加の応援レシピ』（CLC）がある。

### 3月15日（土）【大阪の取り組みを体系的に整理、位置づけ】

#### 9：30～11：15【リレートーク】

大阪の実行委員より発表「制度にとらわれない地域や人に寄り添ったインフォーマルな活動」

・コメンテーター：**三井さよ氏（法政大学社会学部教授）アサダワタル氏（近畿大学専任講師）**



三井 さよ氏

法政大学 社会学部 社会学科 教授

1973年 石川県生まれ

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了（博士（社会学））

著書に、『知的障害・自閉の人たちと「かわり」の社会学：たこの木クラブを研究する』（2023年、生活書院）、『ケアと支援と「社会」の発見：個のむこうにあるもの』（2021年、生活書院）、『支援のてまえて：たこの木クラブと多摩の40年』（2020年、生活書院、児玉雄大らと共編著）、『はじめてのケア論』（2018年、有斐閣）など。雑誌『支援』（生活書院）の編集委員。



(画：花堂達之助)

アサダ ワタル氏

文化活動家・近畿大学 文芸学部 文化デザイン学科 専任講師

音楽などの表現行為をきっかけに、異なる立場にある人同士がつながるアートプロジェクトを、全国の福祉施設や学校、復興住宅などで企画演出。品川区立の障がい福祉施設でアートディレクターとして3年間勤務し、2022年から近大へ。

著書に『住み開き 増補版』（ちくま文庫）、『想起の音楽』（水曜社）など多数。

本と音楽のお店、ときどきゼミ（とく）オーナー。博士（学術、滋賀県立大学）。



問い合わせ先

概要

事務局：居場所ネットワーク大阪  
NPO法人エフ・イー  
理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
電話：06-6627-1977（平日10時～17時）  
メール：[npofoa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofoa@oct.zaq.ne.jp)  
携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

居場所ネットワーク大阪  
共同代表：隅田 耕史／高村弘  
設立：2005年3月  
活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会／交流会の開催、居場所づくりサポートなど

## 【※1.地域共生ケア全国ネットワークとは】

赤ちゃんからお年寄りまで、障害があってもなくても、誰もが地域で生き生きと暮らすことのできる小規模な地域共生ケアの実践に携わる団体が、全国的にゆるやかに繋がり、高齢者に限らず支援を必要とする地域や住民の生活福祉の向上と地域共生ケアの推進を図ることを目指して活動しています。

1998年2月、宮城県松島町で第1回「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム」が開催されました。これをきっかけに、1999年1月、宅老所（大規模施設では落ち着けない認知症高齢者が民家などの家庭的な雰囲気の中で自分らしく暮らせる柔軟なケアを行う小規模事業所）やグループホーム実践者や支援者がつながり、ケアの充実を目指して「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」が発足しました。宅老所のケアは「小規模多機能ケア」「ユニットケア」「地域共生ケア」などの実践を生み出し、日本の介護や福祉のあり方に一石を投じてきました。

その後、厚生労働省は、2000年に介護保険を開始、2006年に小規模多機能居宅介護を制度化、2017年には「住民や多様な主体が『我が事』として参画し『丸ごと』つながり、地域を共に創っていく地域共生社会」を提唱するようになりました。当ネットワークも2023年度から「地域共生ケア全国ネットワーク」に名称を変更し、1998年以降ほぼ毎年開催してきた「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム」は「地域共生ケア全国ネットワーク研究交流フォーラム」と名前を変えて、研究発表・交流会を継続しています。



代表 惣万 佳代子（特定非営利活動法人 デイサービス このゆびとーまれ 理事長）  
富山県黒部市生地町出身。平成5年7月民営デイケアハウス「このゆびとーまれ」開所。平成10年10月、富山県民間デイサービス連絡協議会（平成15年富山ケアネットワークに名称変更）発足し、会長就任。平成11年5月、「デイサービスこのゆびとーまれ」特定非営利活動法人認証。平成16年6月、内閣府・第1回「女性のチャレンジ大賞」受賞。平成17年9月、内閣府総理大臣表彰「男女共同社会づくり部門」受賞。平成19年8月「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」代表世話人に就任。平成27年8月フローレンス・ナイチンゲール紀章受賞。平成30年4月春「藍綬褒章」受賞。

## 【※2.居場所ネットワーク大阪とは】

2005年、大阪市社会福祉協議会福祉企画課長を早期退職した竹村安子氏の呼びかけで、NPO法人フェリスモンテの山王丸由紀子、NPO法人エフ・エーの長福洋子など宅老所やグループハウスの実践者たちが「大阪市宅老所グループハウス連絡会」を設立したのが始まりです。

**居場所活動をしている、もしくは関心がある団体や個人の相互交流や学びあい、連携を進め、多様な取り組み、活動を通して社会の中で居場所の普及、啓発が図られていくことを目指しています。**

発足後、大阪市内以外の参加希望者が増えたため、名称を「大阪宅老所グループハウス連絡会」とし、一時は30以上の団体、20以上の個人が入会するまでになりました。

活動としては「宅老所・グループホーム全国ネットワーク」代表も務めるNPO法人デイサービスこのゆびとーまれの惣万佳代子理事長・西村和美副理事長はじめとする他法人の代表や理事長、施設長ほか、福祉関係の大学教授など、これまで多くのゲストを招いた学習会、施設見学会、交流会を2～3か月に1回程度、開催してきました。

その後、介護保険の報酬切り下げや報酬算定要件の厳格化、事務作業の煩雑さ、介護人材の高齢化や不足などにより介護事業所が疲弊し、いったん会員数は減少しましたが、**2024年、「宅老所」という表記を外し「居場所ネットワーク大阪」と名称を変更して新たにスタートした結果、高齢者対象の事業所限定ではないことがわかったなどの理由で、入会者が増勢に転じています。**



共同代表 隅田 耕史（NPO法人フェリスモンテ理事・事務局長）  
1981年大阪生まれ。2004年、大阪市立大学文学部卒業。2006年、NPO法人フェリスモンテでボランティア、2007年事務局長。大阪市旭区・生野区を拠点に高齢者／障がい者／子育て／生活困窮者支援、地域交流活動など実施。桃山学院大学非常勤講師、居場所ネットワーク大阪共同代表、地域共生ケア全国ネットワーク監事、大阪有償ボランティア団体連絡会代表、地域共生ケア生野推進委員会代表、こどもの居場所サポートおおさか運営委員、全国食支援活動協力会理事、日本NPOセンターの評議員など。

### 問い合わせ先

事務局：居場所ネットワーク大阪  
NPO法人エフ・エー  
理事長 長福 洋子(ながふく ようこ)  
電話：06-6627-1977（平日10時～17時）  
メール：[npofoa@oct.zaq.ne.jp](mailto:npofoa@oct.zaq.ne.jp)  
携帯電話：080-2422-1515（隅田 耕史）

### 概要

居場所ネットワーク大阪  
共同代表：隅田 耕史／高村弘  
設立：2005年3月  
活動内容：居場所づくり講座（門真市受託、阿倍野市民学習センター協働事業）実施、学習会／交流会の開催、居場所づくりサポートなど